

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和6年8月2日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691500153
法人名	株式会社 幸楽
事業所名	グループホーム こうらく園
所在地	鹿児島県薩摩川内市下甕町手打544番地 (電話) 09969-7-0900
自己評価作成日	令和6年5月27日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和6年7月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

手打海岸近くに立地し、潮風の音、においを感じながら、ゆっくりとお過ごしいただけます。
また、ご利用者様のその日の気持ちに寄り添いながらにはなりますが地域行事にも参加し、地域の中の施設を意識して運営しています。
施設は台所を中心とした配置で、共用部分のスペースを提供しています。
認知症の症状進行の緩和を目的に、利用者が我が家にいるように安心して過ごせるスペース、環境づくりに努め、楽しいレクリエーション(畑など)、食事などを企画し、実行します。食事もたまには外食をするなど気分転換できる時間を取り入れたりしています。
ご入居者様がリラックスできて自分の住まいになっていくような自然な空間を作り出せるようにしています。
居宅生活への復帰を目指し、個性に合わせた、自立生活の援助を行います。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は1ユニットで広い敷地内に利用者はゆったりと暮らしている。近くには、運営母体の会社があり災害や避難時には社員の協力体制ができています。
- ・自治会に加入しており、地域行事にも参加している。ボランティアや中学生の職場体験等の受け入れも行っている。地域住民と散歩時の挨拶や野菜の差し入れ等もあり、畑の作り方等も教わりながら地域の中の事業所になっている。
- ・運営推進会議には地域コミュニティ会長や行政担当者・地域包括支援センター職員等が参加し、事業所の実情や新しい職員の紹介等も行っている。相談や意見交換をしながら協力体制ができています。
- ・看取りについても早い段階で本人・家族・主治医と話し合いを行いながら看護師の職員の協力をもらい、取り組みを行っている。
- ・管理者・職員は、日ごろから利用者とコミュニケーションを取り利用者の思いや意向に寄り添いながらケアに日々取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ．理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	運営理念の周知教育を行うことはもちろん、職員との介護に対する価値観や考え方に相違がないか日ごろから話し合い確かめ理念に基づくサービスの実行ができています。	理念は玄関やホールに掲示し、重要事項説明書にも記載している。職員会議等でも話し合いを行いながら、理念を共有し、日々のケアに取り組んでいる。新人職員の入職時に理念について研修をしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	畑の作り方を聞いたり、散歩しているご利用者様の見守りをお願いするなどしている。	自治会に加入し、地域の方にも運営推進会議に参加してもらっている。中学生の職場体験学習受入れや園庭の畑の手入れを教わったり、地域行事の見物にも出かけている。散歩時の挨拶や野菜の差し入れ等もあり日常的に地域との交流を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	認知症の方を少しでも理解していただけるように運営推進会議などで認知症の理解を進めている。職場体験などを実施している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域行事や独居高齢者、雇用などの情報収集及び意見を収集し、サービスに反映させている。	運営推進会議では事業所の状況や実情・職員の紹介等を行っている。地域行事に参加が難しいのでビデオで敬老会や夏祭りの様子を見てはどうかとの提案があったので話し合いを行って取り組む方向になった。出された意見をサービス向上に活かすようにしている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	各種会議に参加し、運営上の問題を伝えながら、地域の問題についても施設から解決できるよう取り組む努力をしている。	行政担当者に運営推進会議に参加してもらっている。運営上の問題や地域の問題等も相談したり、情報を得ながら連携を取り協力体制ができている。研修会の案内等があり参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	施設における身体拘束の定義を全員で理解し、実施している。防止委員会の設置。	身体拘束防止委員会を設置している。拘束・虐待防止・言葉遣いについて毎月の職員会議の中で話し合いを行っている。研修会に参加した時は再度周知し確認を行っている。夜間のみ施錠している。一人で散歩に出かける利用者には職員が見守りを行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設における虐待の定義を全員で理解し、実施している。防止委員会の設置。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	利用者の置かれている状況を通して、人権や後見人制度などについて学ぶ機会を、職員会議で作っている。後見人制度は実際に利用されたことはないが選択肢の一つとして、提示できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	本人とご家族（身元引受人）の来園、見学を入所条件にしている。説明書を使用した説明および、説明に対する理解をいただき署名、捺印により確認する。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ケアプランに家族の意向を必ず記入してもらう。また、電話・FAXに限らずLINE（SNS）を活用している。	家族からの意見・要望は面会時や電話・LINE・FAX等で聞き、果物やアイスを食べさせてほしいとか、畑仕事をさせてほしい等の要望に、本人の思いも聞き、取り組んでいる。写真や日常の様子は個別で家族に届けている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員会議を開催し、反映している。また、施設長が申し送りなどに出席し、状態を把握するよう注意している。日ごろから普段の何気ない会話の中でも意見がいえ環境にしている。	職員会議や申し送り時・日々の会話の中からも提案や思いを聞いている。事業所でバーベキューをしたり、職員が踊りを披露して利用者を喜ばせたり、畑で一緒に野菜を育てたり等、職員の意見や提案を聞きながら、楽しく運営に取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	個人面談の実施などにより、環境整備に努めている。やりがいを感じてもらえるように職員1人1人にあった働き方をするように提案し、実現してきている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員会議で問題点の指摘・改善の指導を行う。内部研修の実施。管理者からの問題点などの解決策を話し合っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他事業所の事例などを職員会議にて展開。同業者とのコミュニケーションの場に副職として他施設でのアルバイトなどを許可している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	会話の中から本人の意思、意向、要望などに耳を傾け、ケアプランに反映するように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	説明書を使用した説明および、説明に対する理解をいただき署名、捺印により確認する。また、電話対応は24時間受付けている。またSNSを通じたほぼリアルタイムでの状況伝達。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ケアプラン作成に反映させ、変更が生じた場合、家族の同意の上随時変更している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	良好な関係を築いている。いつもは敬語や丁寧語で会話をするが、たまには島の言葉を使い安心してもらえるようにしながら本音が離せるような雰囲気を作っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者と入居者家族がつながるよう、連絡体制をとっている。電話やビデオ通話、SNSを通じた連絡体制。感染症の流行時は避け直接面会を行い、触れ合っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	訪問者は常時受け付け、面会していただいている。可能な限り本人の望む場所へ一緒に行くこともある。買い物・美容室・外食など。	利用者の部屋で面会している。訪問美容師を利用したり、自分で行き付けの美容室に行く場合もある。買い物や自宅訪問、家族と外食に行ったり、馴染みの関係が途切れないように支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者がお互いの部屋を訪室することを特に妨げていない。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も、相談・連絡体制をとっている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の意思と、健康管理と心身のバランスを保って接している。外出拒否・入浴拒否に対しては根気強く話をして気持ちを聞いたうえで清潔保持ができる程度に無理強いはしないなど。	普段から思いを気軽に話したり、入浴時に靴が欲しいとか、家族に頼むのは申し訳ないとか、語られることもある。困難な場合は家族に意見を聞き、職員で話し合いをして本人の思いに添えるように検討し支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	他サービスの利用記録または診療記録を入手し、ケアプランに反映している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常の行動を記録している。観察をし、本人の特徴を理解することに努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日常記録を参考にケアプランを作成している。	本人や家族・職員・主治医等と話をしながら介護計画の作成を行っている。モニタリングは毎月実施し、介護計画の見直しは6ヶ月で行っている。状態変化に応じて見直しを行っており、現状に即した計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者の情報は、職員間で細かい部分まで共有できている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況等把握し、利用者に合ったサービスを柔軟に行うようにしている。その都度新しいサービスの多機能化に取り組むよう努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	できる限り、なじみの人との付き合いについて、継続していただき、必要な助言等による、利用者本人の、人の役に立つ実感を失わないよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけの医師の診察を受けている。	毎月、往診をしてもらっている。離島の為、他科受診が必要時は主治医が専門医と連絡を取って検査や薬を出してくれることもある。かかりつけ医と相談しながら適切な医療が受けられるように支援している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	パートタイマーで看護師を雇用し、知識を生かしている。協力医療機関との連携をとっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	情報交換を行っている。利用者が安心できるように本人の意思を尊重しながら治療するよう医師や看護師が努めてくれている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族との話し合い、医療との連携を図っている。また、加算にはならないものの家族の希望により、看取り介護をしている。	契約時に重度化や終末期・看取りの説明を行っている。家族や主治医と相談しながら、職員に看護師がいるので出来る限りの看取りケアをしている。職員も研修や勉強会を行っている	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者の急変時や事故発生時の対応、連絡体制および避難経路、場所を決定している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	近隣住民がすぐ駆けつけてくれるよう協力体制を確保している。	年2回消防署の協力をもらいながら夜間火災想定で避難訓練を行っている。近隣住民との協力体制が出来ている。備蓄は、水・レトルト食品・缶詰・ラーメン等を準備している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員会議での職員への周知、家族様、来客様まで注意を周知している。	マニュアルを基に職員会議で人格の尊重・プライバシーへの配慮を周知している。入室時のノック・名前はさん付けで呼んでいる。トイレ誘導や入浴・着替えの時等の対応や言葉遣いに配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	可能な限り本人の意思を尊重している。自由選択が困難な利用者に対しては、選択肢を提示することによる意思決定の尊重。ご家族への相談など。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ある程度のタイムスケジュールを管理しているが、入居者が優先であり、意向に沿う形で支援している。職員への教育は徹底している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	朝や入浴後の整容、衣類の選択はもちろん。ご本人が希望すれば化粧等の支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	現利用者には共同作業ができる方がいるのでお願いして食事や片付けを一緒に楽しみながら自発的になっていってくださるよう努めている。できない方には食事を楽しんでもいただけるよう努めている。	食事の献立は職員が利用者の希望を聞いて作成している。下ごしらえや配膳・下膳等ができる利用者は一緒に行っている。誕生会にはケーキを食べたり行事食も作っている。畑で採れた野菜を利用者と一緒に収穫して、食事を楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日常記録から個人の状況を把握し、支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	うがい、ブラッシング等のケアを介助して行っている。毎回ご本人の心身のバランス状態をみながら行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の体調に応じた支援を行っている。	排泄パターンを把握して一人ひとりの状況を見ながらトイレ誘導し、自立に向けた支援を行っている。自立している利用者が多く布パンツの人が半数いる。体調を維持できるように支援している。おむつ利用者は少ない。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	適度な運動と食事の中では食物繊維を多く含む食材や果物、ヨーグルト、牛乳等を個人の口に合うようにして提供している。排便の記録。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	個人の意向に沿っている。心身のバランスとご本人の気分によって異なるが、まずは清潔保持と癒しや楽しみなどであることを理解してもらえような支援をしている。	週3回は入浴できるように声かけを行っている。シャワー浴の人が多いが清潔保持の必要性を話しながら楽しめるようにしている。入浴後は保湿剤を塗布しマッサージを行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼寝をする方、ベッドではなく布団がよい方、畳がよいかなど個人の意向を反映している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者が服用する薬については、全職員が理解している。薬剤師が介入し管理している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個人の趣味・特技を日々の生活で取り入れられるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	体調に応じて、家族・友人との外出を許可し、職員が付き添い外出することもある。	花見等でドライブしたり庭で花をながめたり、近くの喫茶店に出かけたりしている。家族・友人たちと外食や買い物・ドライブ等、日常的にもいろんな機会に外出できるように支援を行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	認知症の症状を見究め、所持させている人もいる。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話、手紙の支援を行っている。時間を限らず、電話を取り次ぐ。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	机には季節の花を置く（花が好きな人に限る）常時、清潔にしている。湿度や外気温に合わせて室内温度の微調整を行っている。	共用空間は広くて明るく掃除が行き届いている。換気や空調・温湿度管理がされている。テーブルには季節の花が飾られている。窓の外には広いデッキがあり近隣の猫が遊びに来たり、デッキでお茶を飲んだりしながらゆっくり居心地よく過ごせるようになっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ご本人様が希望されればテレビや壁掛け時計、写真盾、仏壇などご自分の家と変わらないような空間作りインテリアを工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設から準備するものは最低限にしているので、使い慣れたものを入れられるよう、空間を確保している。	居室には洗面所とトイレがある。エアコン・ベッド・箆箆・寝具セットは事業所で準備している。テレビ・掛け時計・仏壇・家族の写真等、使い慣れた物を家族と相談しながら、本人が居心地よく過ごせるように配置している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手摺を全周配置し、居室入り口に名札を取り付け、一人で移動できるようにしている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない